

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 報告者名・所属                        | 湯川宗紀 佛教大学総合研究所 嘱託研究員・佛教大学非常勤講師  |
| 概要<br>(会名、開催地または開催形態、開催日、主催者等) | 佛教大学総合研究所共同研究 常設研究「南丹市の地域社会と佛教大学の地域連携活動に関する研究」第3回Zoom報告会<br>Zoom開催<br>2021年2月24日  |
| URL                            | <a href="https://www.bukkyo-u.ac.jp/labo/activity/project/kondo.html">https://www.bukkyo-u.ac.jp/labo/activity/project/kondo.html</a> |

美山の「意義」と  
新しい(明るい?)価値(指標)

# 観光

近代

都市のまなざし

農山村へのニーズニーズ

自然 人智を越えたもの

農山村 伝統・文化

# 自由貿易

WTOウルグアイラウンド農業交渉

(1986年 - 1994年)

今後の農山村

アメリカ 大規模農業

欧州 異なる取り組み

# 欧州の取り組み

- イタリア 零細農家への直接支援

c f スローフード

- ドイツ M E K A

農家 メニューを自由に選択

景観維持, 希少な家畜種の飼養等

メニューに応じて直接保証

政府(州政府とEU)

# 自由経済

景観維持、伝統・文化を保持するための  
直接補償

消費するための手段としての  
観光

# 第四次全国総合開発計画 1987（昭和62）年

## 交流ネットワーク構想

- 農山村は豊かな自然とのふれあいの拠点として都市との交流による観光事業、それによる農山村振興が目標の一つ

## 総合保養地域整備法 通称リゾート法

# グリーン・ツーリズム

農林省

「緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」

宮崎(農水省構造改善局有識者研究会)

人の交流であり、物や情報だけの交流ではない。

これまでの農村観光は海水浴、スキー、有名な史跡など有力な観光資源に依存していたが、グリーン・ツーリズムでは、普通の農村のあるがままの姿が資源となるもの

グリーン・ツーリズムの振興

これまで観光資源のなかった地域も

実践可能な地域振興・観光事業

# 観光

見る者／見られる者　：　ゲスト／ホスト関係  
権力関係

観光は資本主義社会において規則化され、  
組織化された労働

「文化の画一化」「文化の商品化」

ゲストがホストの文化を覗き見したい欲求から  
地域文化は見世物化

# オルタナティブ・ツーリズム

(グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム、  
エコ・ツーリズム、アグリ・ツーリズム・・・)

- これまで一方的であった  
    ゲスト／ホスト関係の固定的関係を自省
- 両者の関係の人格化を強調
- ホスト地域の文化アイデンティティを尊重
- 人的交流を相互に行う

# 観光という選択

低開発地域の持続的な発展

経済・現金収入の糧

産業低下・開発困難地域

新たな投資を必要としない

# 文化の客体化

太田好信(1993)

## 観光

- 「純粋な文化」の形骸化した姿を見せ物
- 観光を担う「ホスト」側の人々
- 観光という力関係の編目を利用
- 自己の文化ならびにアイデンティティを創造  
「ホスト」側の主体性

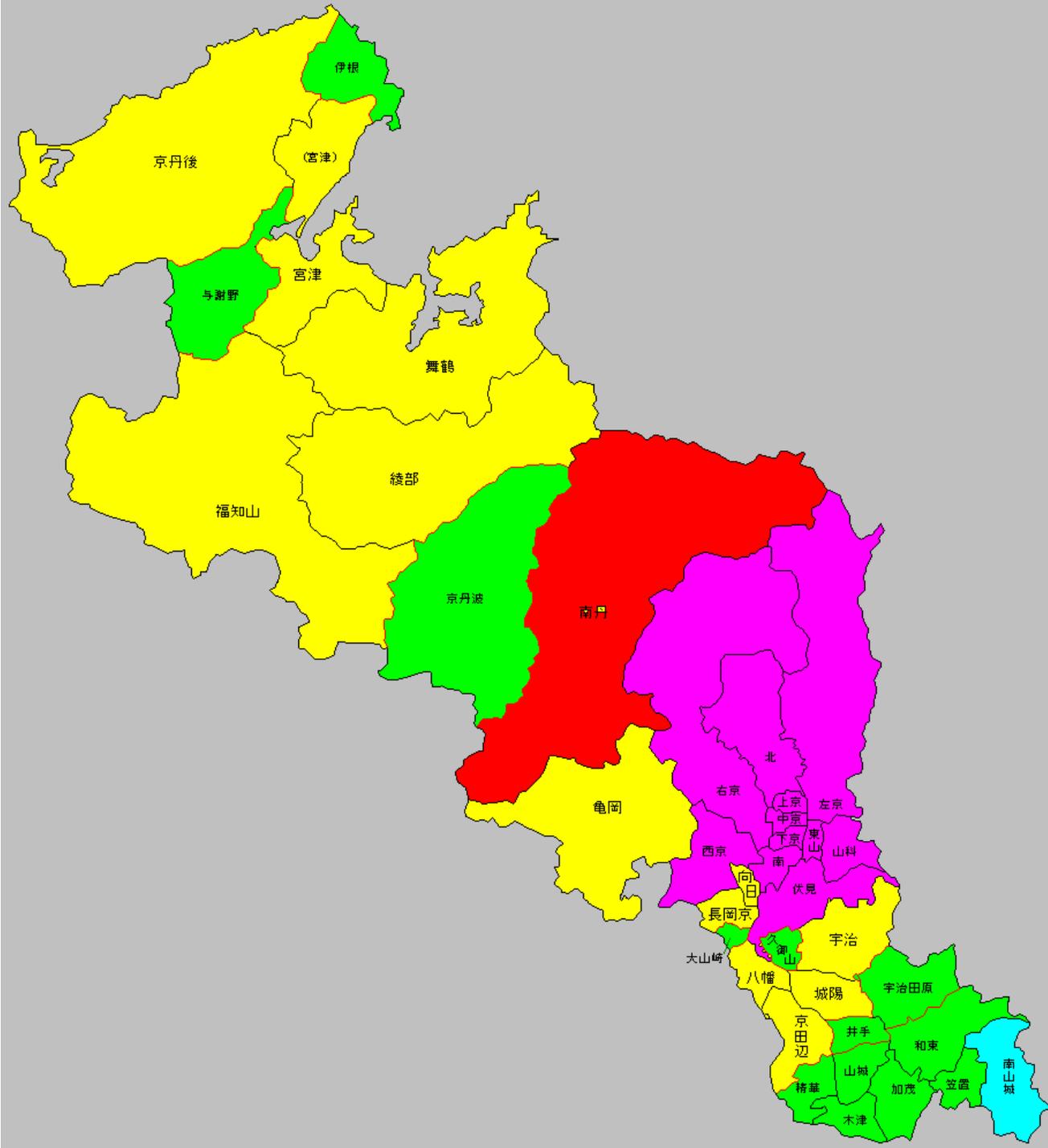
# ポスト生産主義

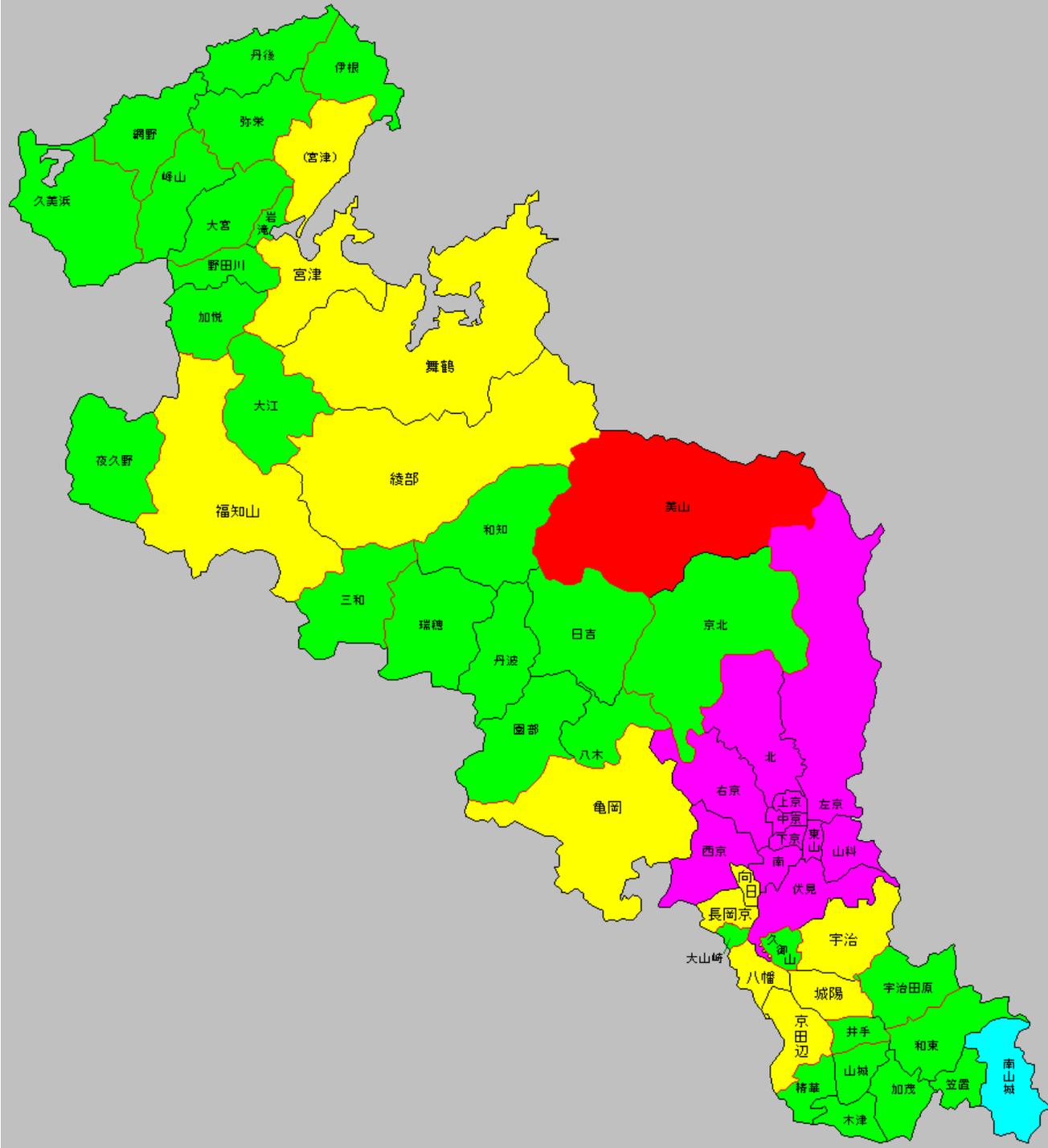
1990年代

農業生産を評価する生産主義であり、1990年代初頭からは農村空間、表象が評価されるポスト生産主義へ評価対象が変化

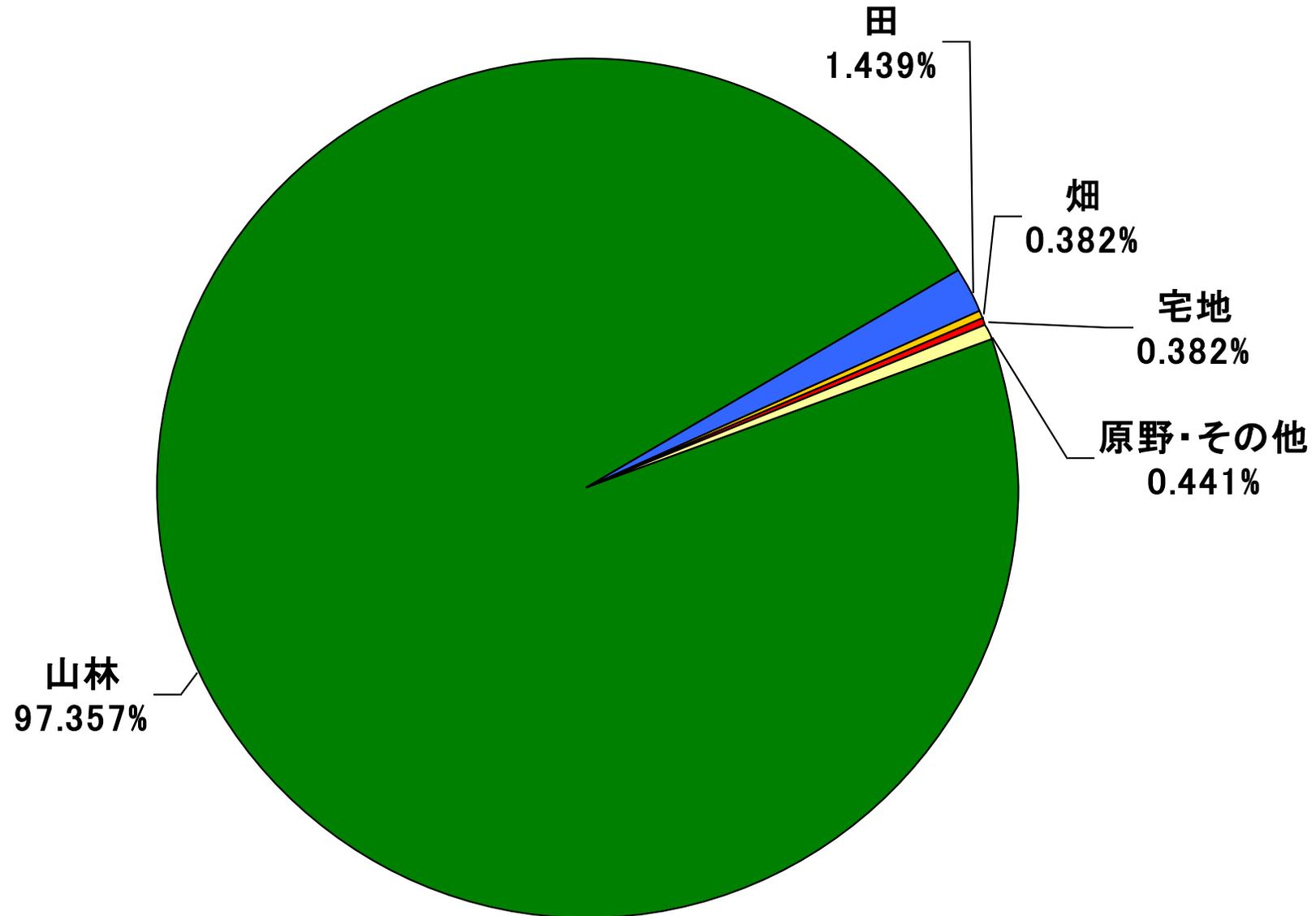
立川雅司 2005

京都府南丹市美山町





# 地目別面積



## 美山にとってのグリーンツーリズム

「これからはゆとりを都市住民が求めとる、そういう意味で展開をしたいと思てる事業があるからやらへんか」と農水官僚から提案された

「その当時は全然わからなかった、名前も聞いたことなかったグリーン・ツーリズム」

- 1988年「第3回農村アメニティーコンクール優秀賞」
- 1991年「第1回活力ある美しい村づくり21世紀村づくり塾長賞」
- 1993年過疎地域活性化優良事例国土庁長官表彰  
「第1回美しい日本のむら景観コンテスト農林水産大臣賞」
- 1994年「豊かなむらづくり」農林水産大臣賞
- 1995年「手づくり郷土賞建設大臣賞」
- 2001年優秀観光地づくり賞金賞国土交通大臣賞
- 2004年「全国地域づくり推進協議会会長賞」
- 2005年「毎日・地方自治大賞最優秀賞」等

# 重要伝統建造物群保存地区

1993年

知井地区にある北集落の茅葺き民家と  
その周辺の景観が評価され

「重要伝統建造物群保存地区」に  
選定される

## 町職員

- 「宿場町とか武家屋敷とかそういうのはたくさんありますけども、こういう農村集落いうのを遺してたのは、うちと白川郷だけ」、「いけると思った」

# 1965(昭和40)年 『美山町総合開発計画』

## 「観光の振興」

美山町西部にある大野ダムを観光の中心ポイント  
ハイキングコースの整備、国民宿舎、ゴルフ場、  
キャンプ場を兼ね備えた観光センターの建設計画

# 1985(昭和60)年 『美山町総合計画』

## 「観光ネットワーク構想」

- 「観光ルートの設定」
- 「中風寺→芦生→大野ダム」
- 現在の美山町観光の中心的存在である北集落の茅葺き民家群にはまったく触れられていない

# 芦生

- 芦生地区 広さは約5200haあるが林野率が99.9%
- 知井地区内にあり、芦生に通じる道は芦生より先、一般車両通行止めとなる、最奥の地
- 京都大学芦生演習林があり、その豊かな自然は芦生原生林と呼ばれている

# 京都丹波高原国定公園

丹波高地（丹波高原）のうち、京都府の南丹市、綾部市、京丹波町（船井郡）、京都市左京区・右京区に跨る範囲に設定された国定公園

2016年（平成28年）3月25日

64番目の国定公園に指定

# ダム問題

1965年

- 関西電力が若狭湾の原子力発電所の夜間余剰電力を有効利用する目的として拳原揚水発電所計画が計画
- 水没予定地になった芦生地区住民はダム建設計画に反対運動を続け、町外との連携も保ち、最終的にダム建設計画を阻止した

1980年 「山村振興計画」

ダム湖を中心に展望台やスキー場を配置するという観光開発計画

# 結果

- 経済的成功

来訪者の増大



観光産業の創出



雇用の創出



人口増加・税収増加

# 結果

- 地域ブランド(付加価値)

美しい日本の原風景を残す  
かやぶき民家と清流の里

┆ ターン・Uターンの増加

宮崎

地域経営型グリーン・ツーリズムの

モデルは、

「京都府美山町全体の取り組みにある

と確信できた」

スポーツイベント

地域マラソン

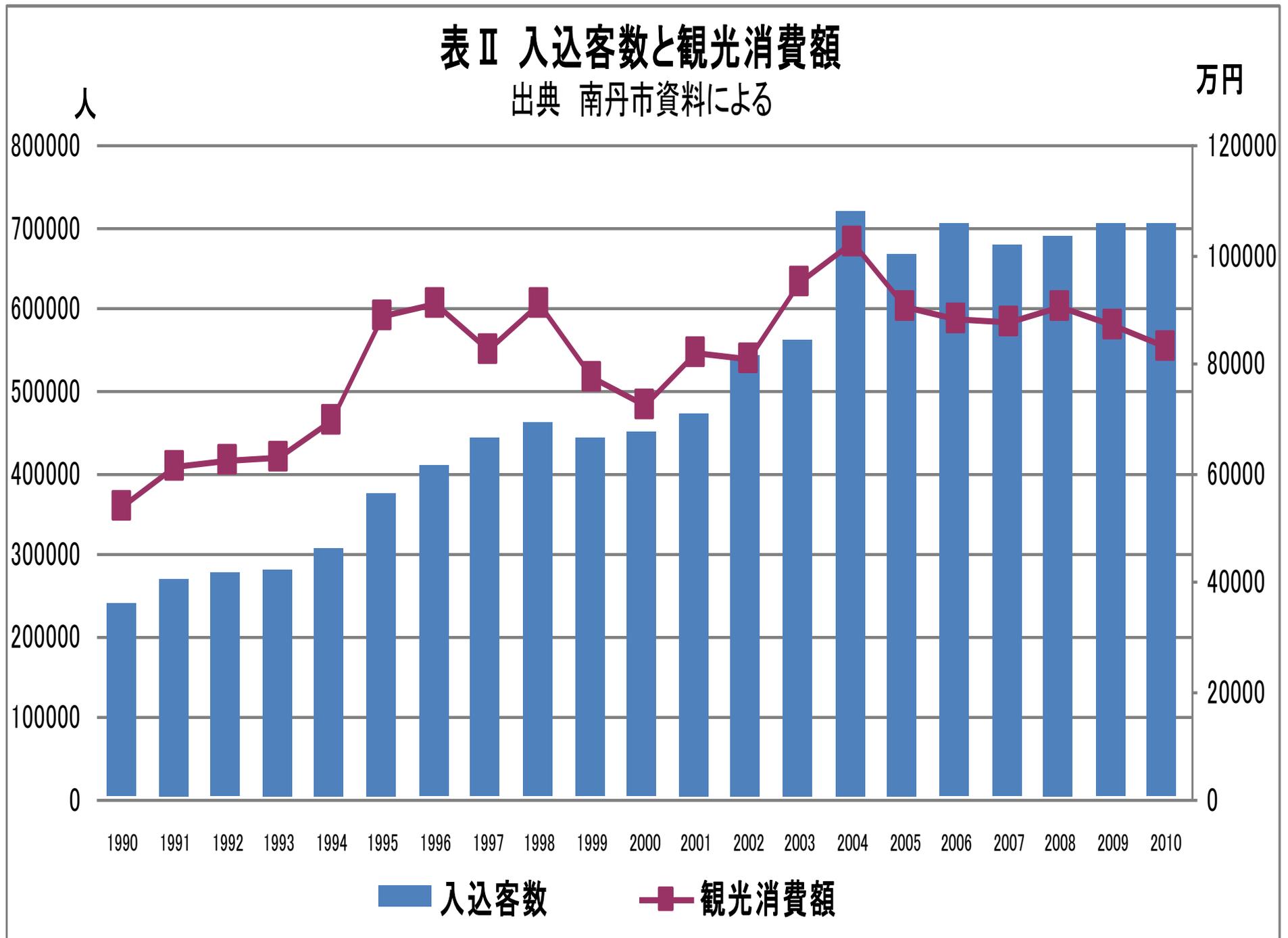
伝統文化の活用

「体験」を売る

- 半日山村体験
- トレッキング
- クロスカントリースキー
- ラフティング
- シャワークライミング

# 表Ⅱ 入込客数と観光消費額

出典 南丹市資料による



トップラナーとしての美山

# 模倣

「普通の農村のあるがままの姿が資源となる」

他地域のモデルとしての美山

同じような企画、計画が全国各地で現れてくる

美山で起ること、抱える問題は

後進の地域でも起る

# 小泉内閣 構造改革

- 地域再生(2005年)
- 国家 財政支援は行わない
- 地域 「自助と自立の精神」  
「知恵と工夫の競争による活性化」

「地域が自ら考え、行動する、国はこれを支援する」  
都市間競争 優勝劣敗 自己責任

2007(平成19)年

観光立国推進基本法  
「観光庁」新設発表  
(翌2008年誕生)

# 観光立国推進基本法

## 観光

世界に例を見ない水準の少子高齢社会

地域経済の活性化

雇用の機会の増大

日本中が観光へ向かう

# 美山(観光)が内包する問題

日常生活の商品化

生活全てが観光の対象として商品化される

資本の力にプライベートな世界(生活世界)まで支配される

「文化の画一化」  
「文化の商品化」

ゲストがホストの文化を覗き見したい欲求から  
地域文化は見世物化

# 「伝統的形態の復元」

## 家屋への改造

民家の小屋組を意匠化するなど定住者には観られなかった機能面以外の改造

## 日常品の変化

金輪から自在鉤

# わかりやすい世界

「美山」らしさ

美山のイメージがないとわからない  
客（都市住民）にわかりやすいもの

田舎

「田舎」らしさの創造

田舎らしさ

日本の原風景

# 日本の原風景

ホスト(地域住民)による文化の客体化  
観光客に対してわかりやすい田舎(日本の原風景)

地域の伝統・文化

観光客にとってわかりやすいものに改変  
様々な地域で模倣される

様々な地域での伝統・文化

観光客にとってわかりやすいものに改変  
日本中同じような田舎(日本の原風景)に  
均質で平坦な伝統・文化へ

どこにでもあり、どこも同じ  
「日本の原風景」の  
過当競争

美山(観光)が内包する問題

観光地(田舎)表象に  
日常(都市)が内包される世界

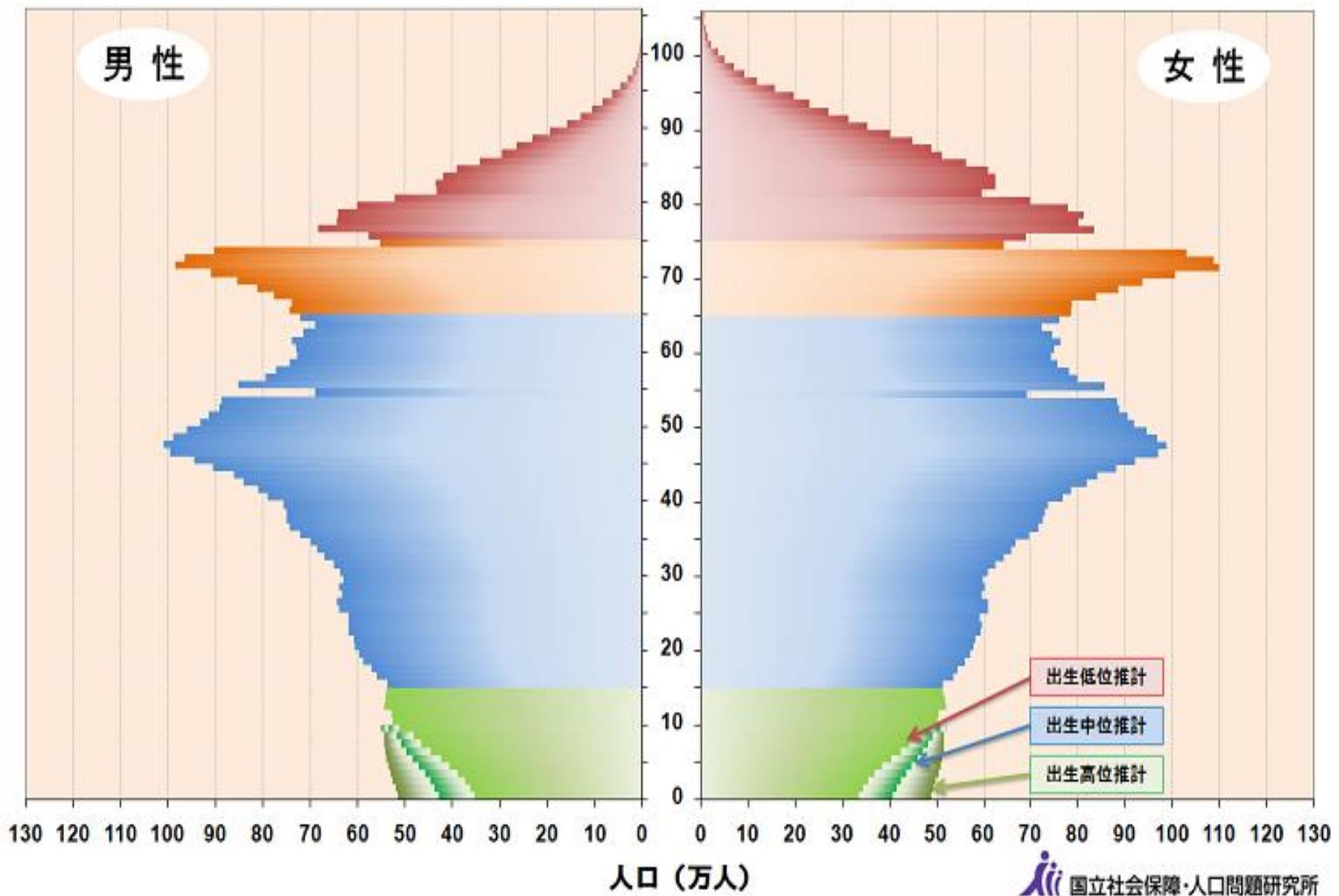
市場経済  
規律とルール

Anywheres と Somewheres

少子高齡化

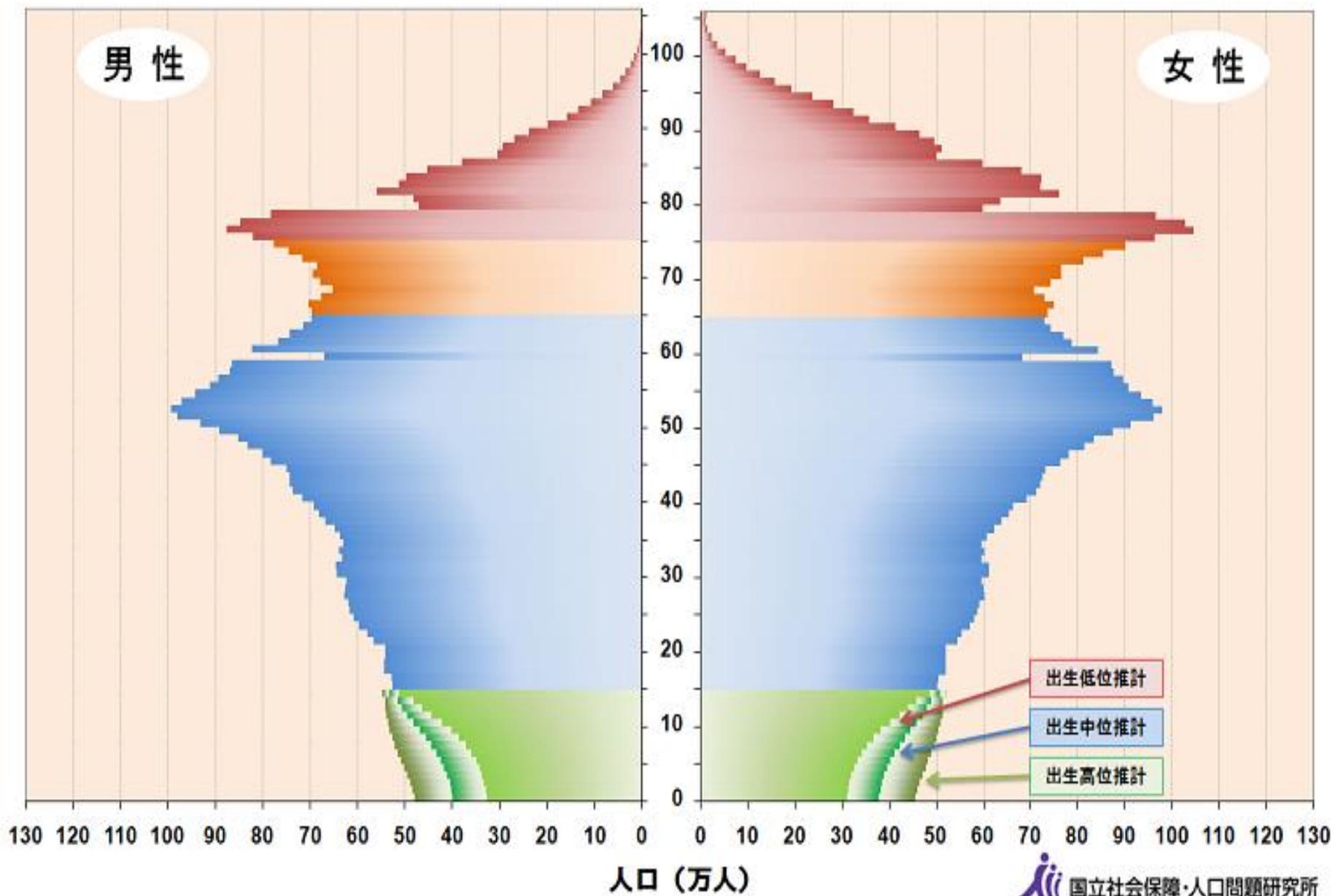
超人口減少社会

2020年



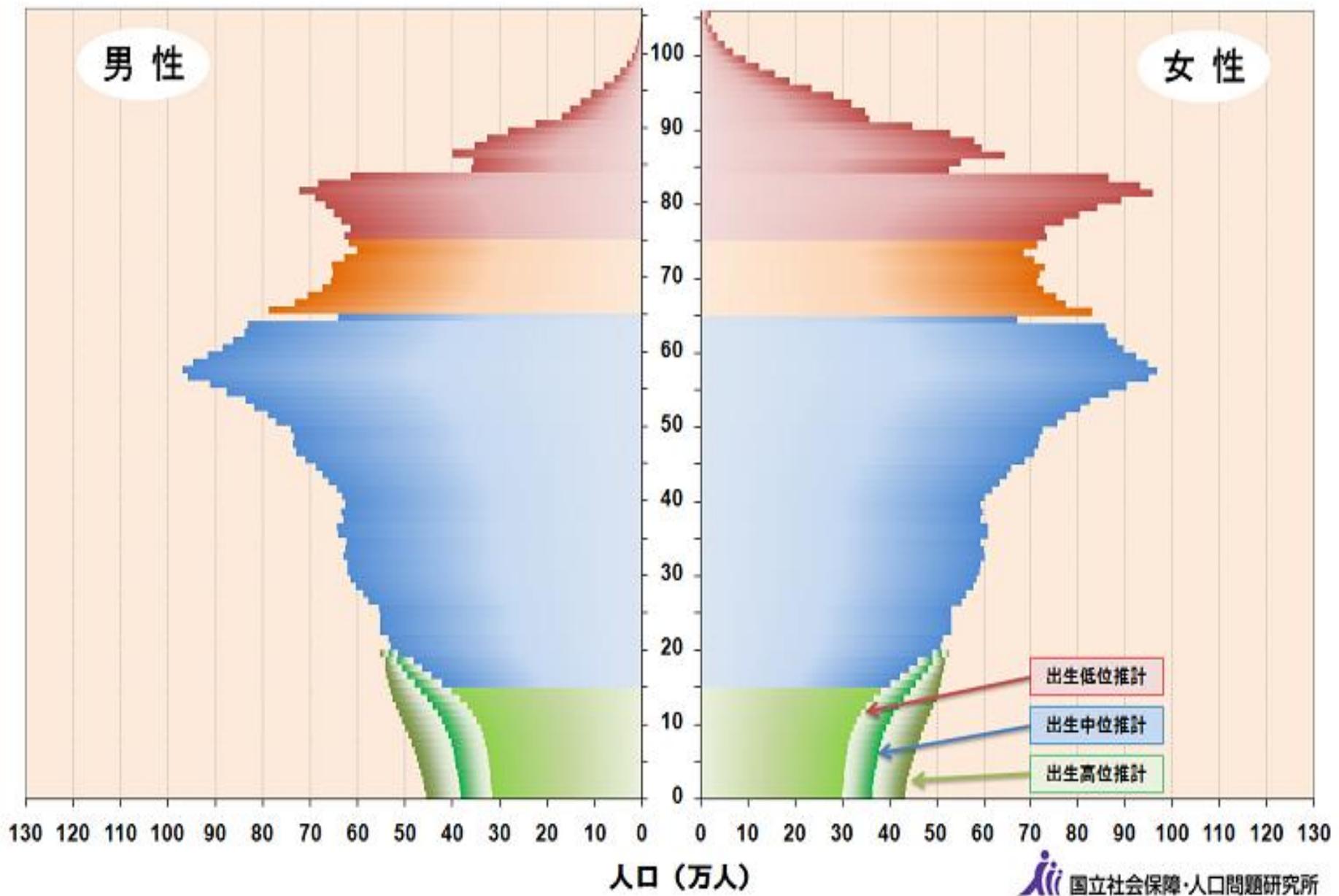
資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

# 2025年



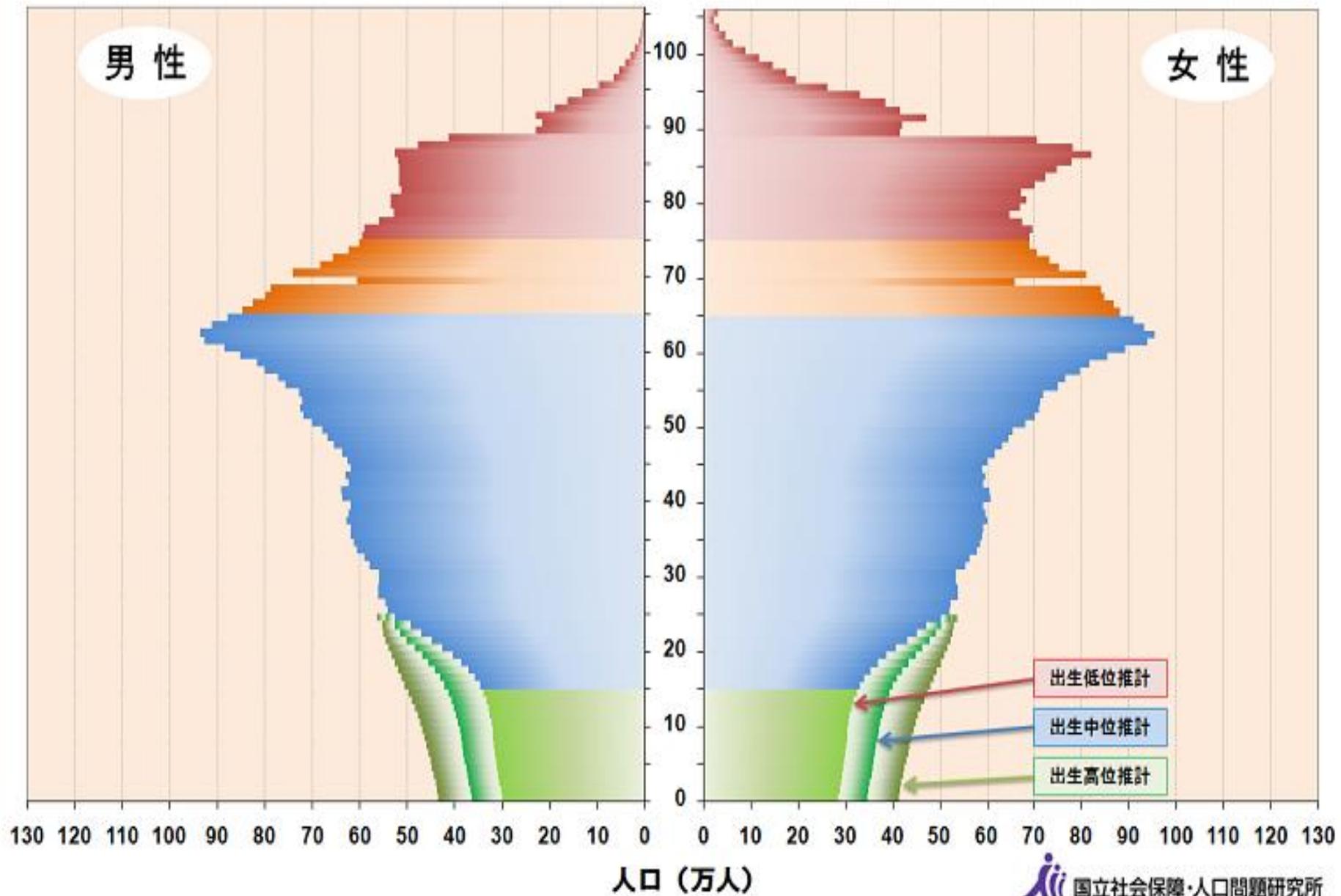
資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

2030年



資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

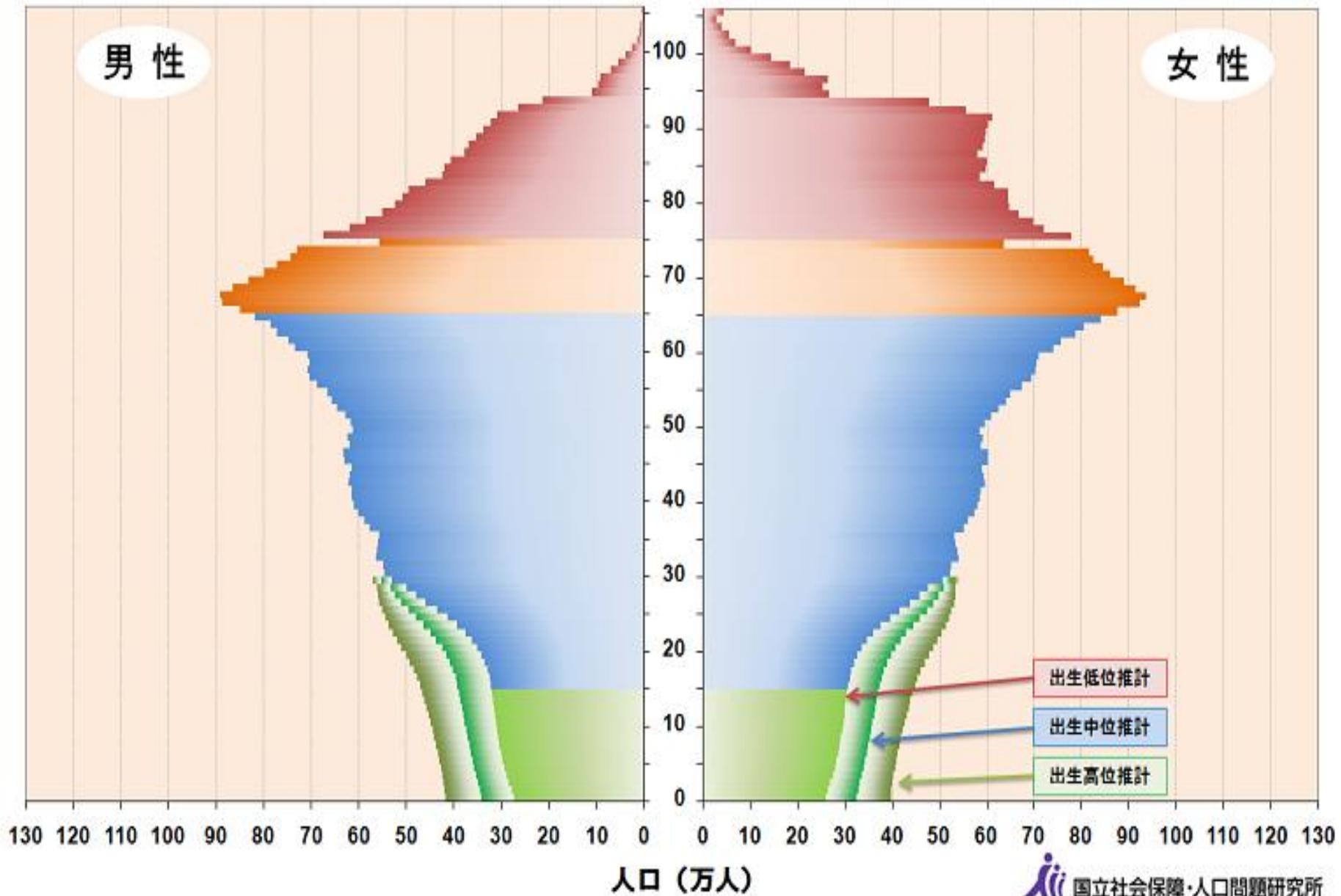
2035年



国立社会保険・人口問題研究所

資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

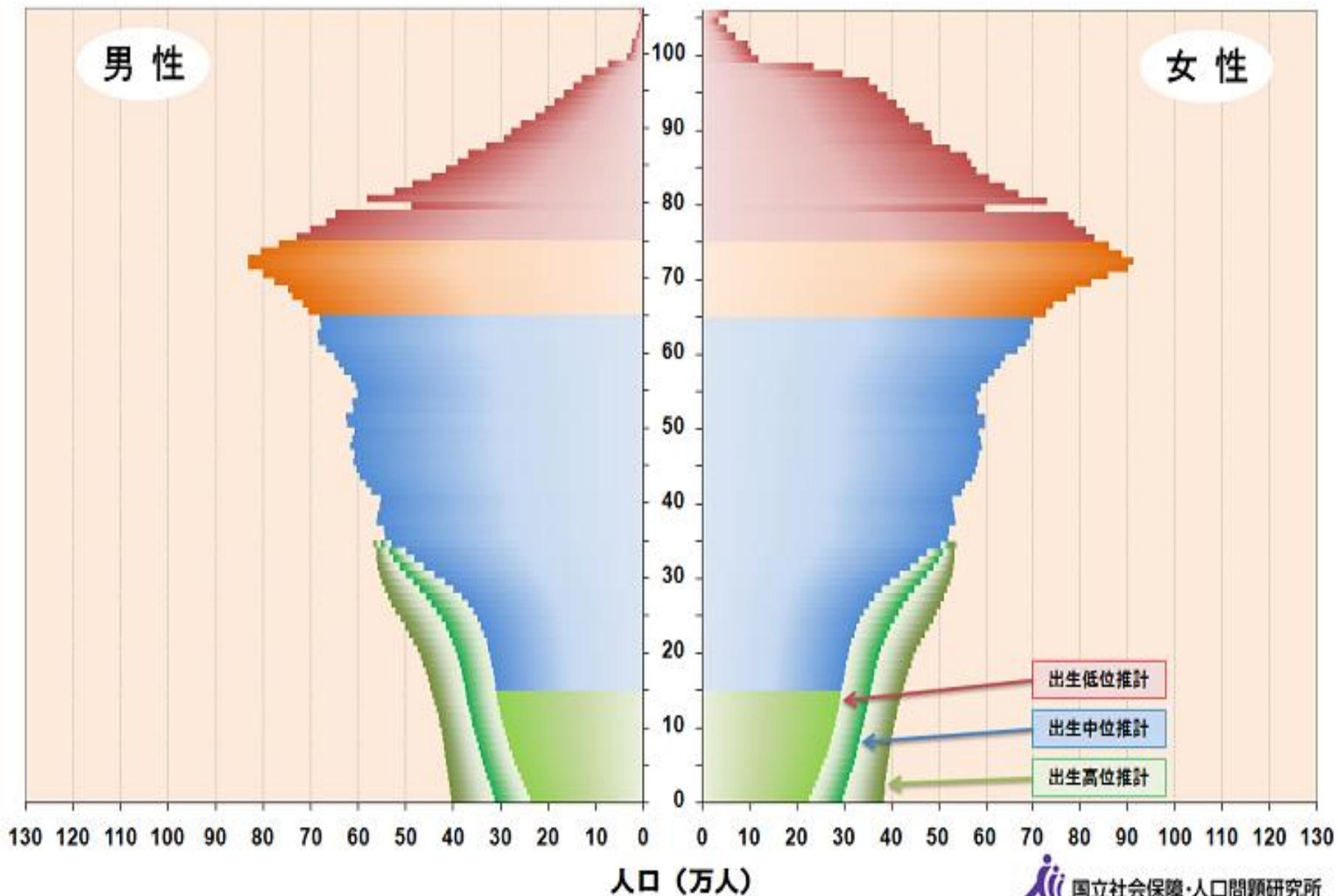
2040年



国立社会保障・人口問題研究所

資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

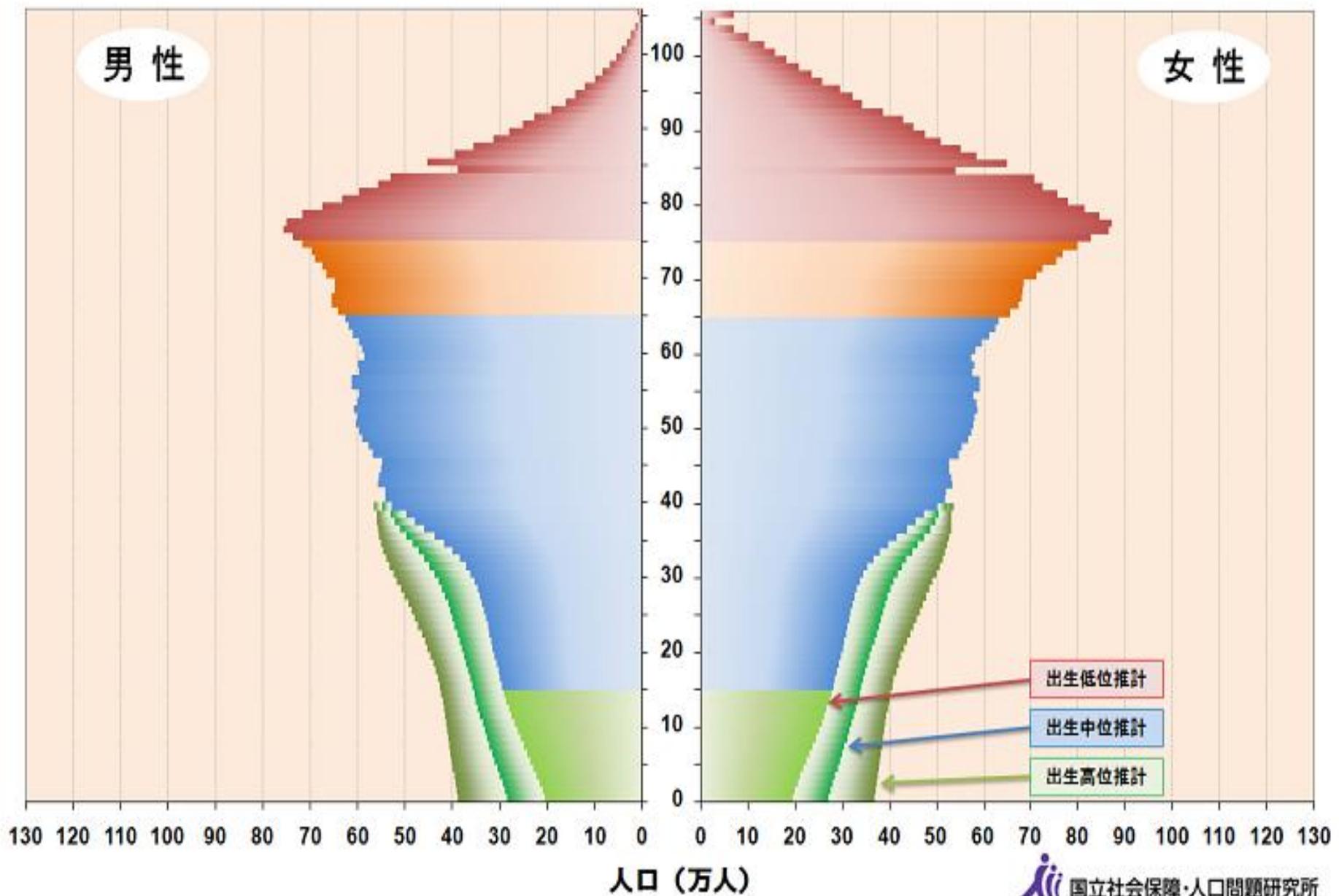
2045年



国立社会保障・人口問題研究所

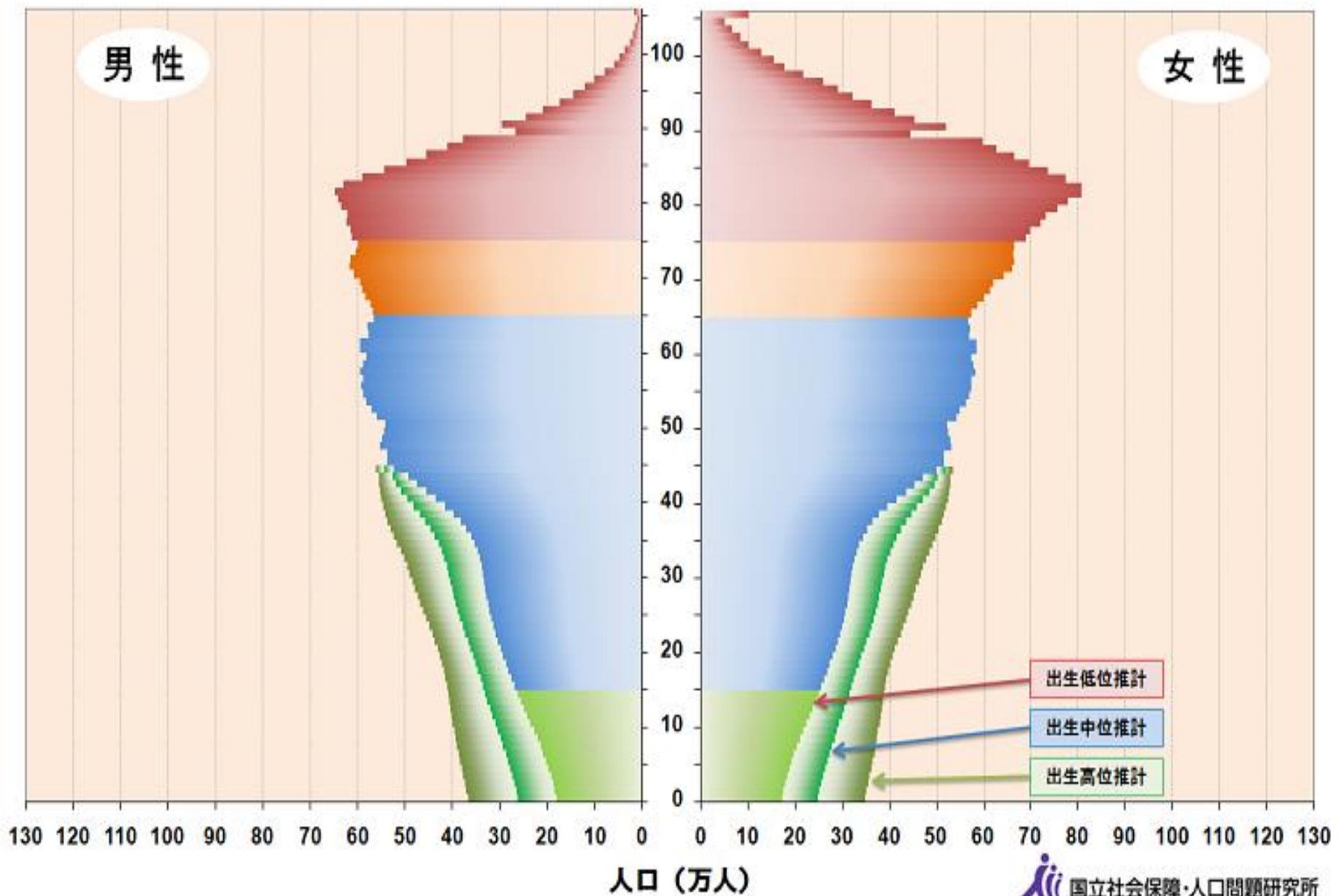
資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

# 2050年



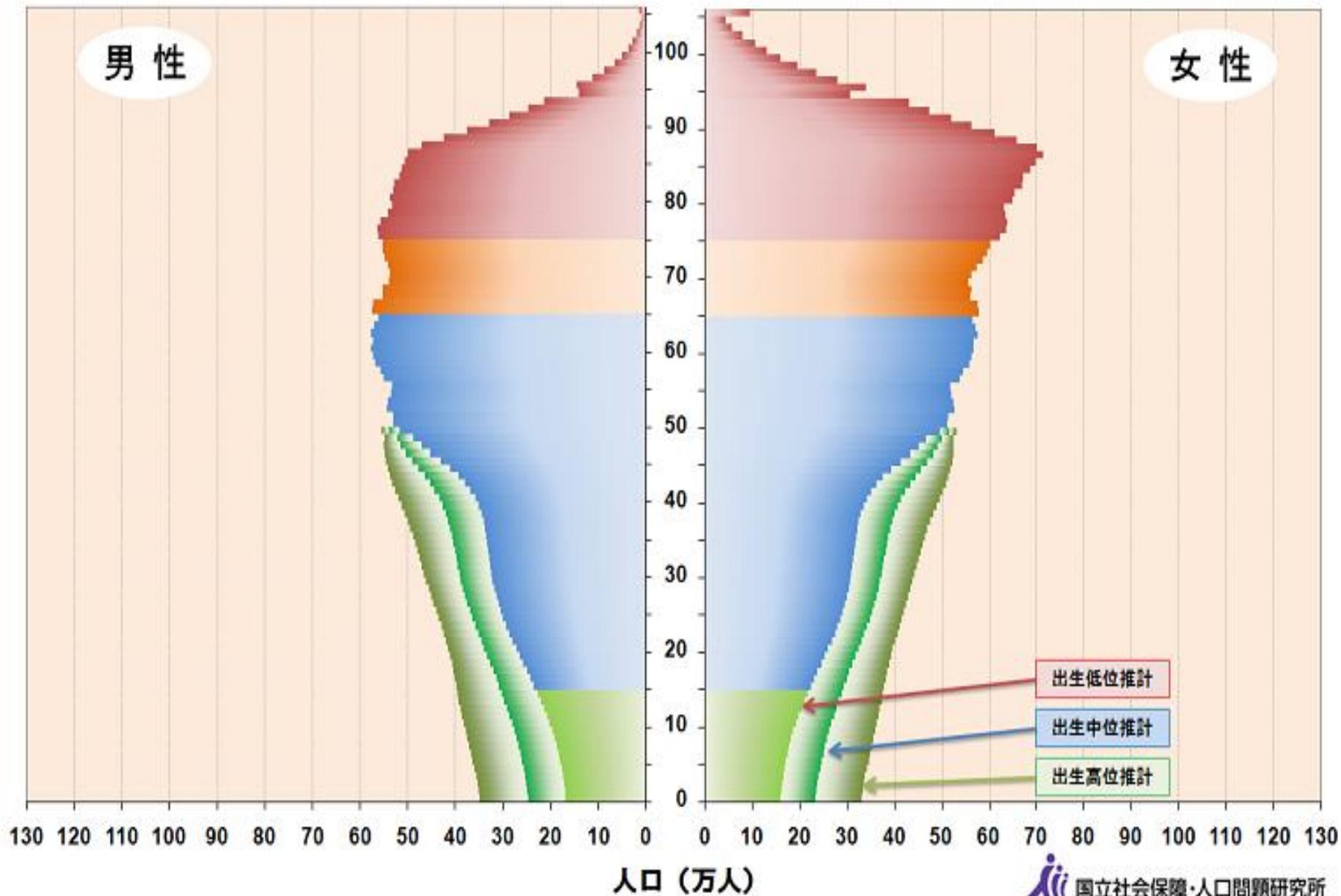
資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

2055年



資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

2060年



資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

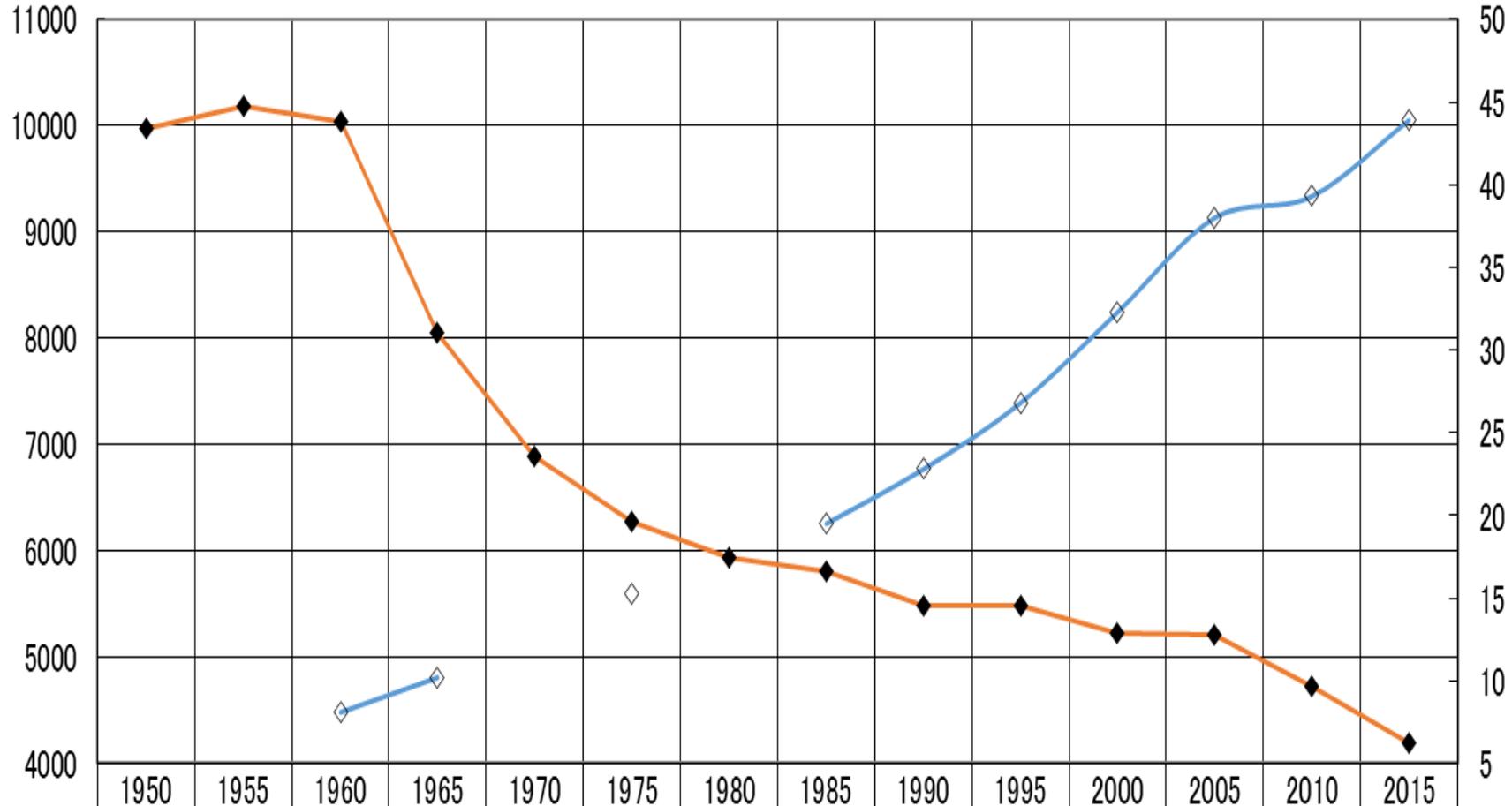
# 人口減少

毎年、  
茨木市や寝屋川市の規模の  
人口が消えていく

# 旧美山町 人口と高齢化率の推移

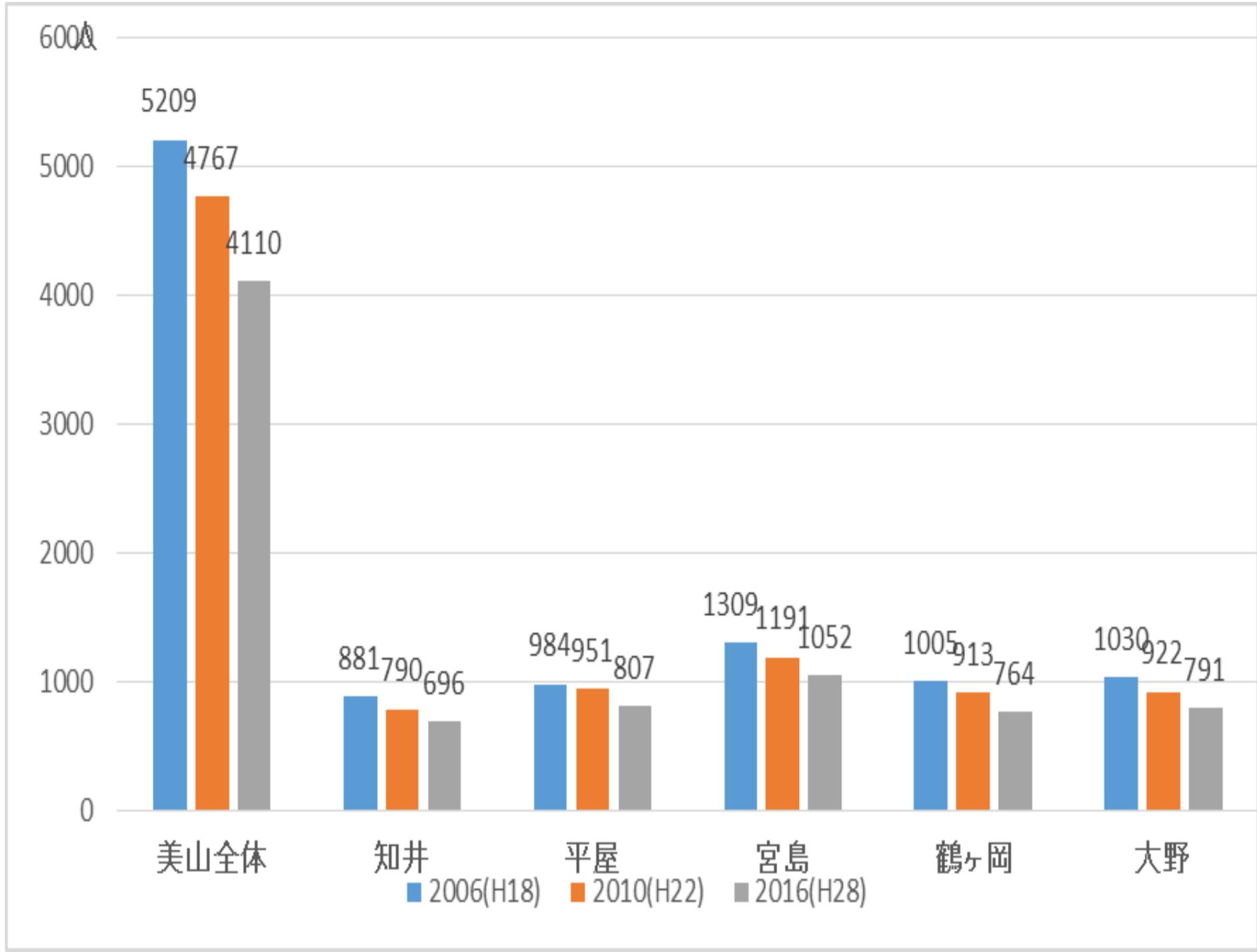
(単位:人)

(単位:%)



|        |      |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ◆ 人口   | 9980 | 10182 | 10035 | 8048 | 6890 | 6278 | 5931 | 5804 | 5479 | 5478 | 5231 | 5209 | 4726 | 4197 |
| ◇ 高齢化率 |      |       | 8.1   | 10.2 |      | 15.3 |      | 19.5 | 22.8 | 26.8 | 32.3 | 38   | 39.3 | 43.9 |





美山町から南丹市へ

南丹市は2006年1月1日誕生

- 京都府北桑田郡の美山町
- 隣接する、京都府船井郡の園部町、八木町、日吉町の三町、計四町が合併
- 合併当初の人口は36402人

自然減

少子高齢化

勤労世代が町外へ（社会減）

必然的に子どもが生まれなくなる

社会減

教育問題

高校は町外にしかない

子どもと母親が町外へ転居、家族  
で転居

移住者の社会減

リタイア世代の移住

高齢化で死亡、転出

移住者の自然減・社会減

# I・Uターン移住者の減少

社会変化

競争過多

人口減少

# 結果

- 「モデル」と言われた美山ですら人口減少
- 人口減少
- 限界集落化
- 環境を維持できない
- 持続可能性はない

# 外部要因

グローバル化（都市間競争）

人口減少社会

町村合併

常に外部との関係で在り方が変わる

田舎の小さな村単独では抗えない

新しい価値(指標)

関係人口

交流人口 定住人口

交流人口 関係人口 定住人口

# 関係人口

- 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。
- 地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

佛教大学学生による独自の動き

# SAIKO PROJECT2019

- 廃校を再興し最高の場所へ -



## SAIKO PROJECT

- 廃校を再興し最高の場所へ -

超高齢社会で全国の学校が相次いで廃校。  
活動拠点の「美山町」も町内4校が廃校に。

「廃校」を「廃れた学校」にしたくない。  
廃校を多くの人の手で「再興」したい。  
そして「最高」の場所にしていきたい。

さあ、いこう。SAIKO PROJECT。

### [活動場所]

- ・ 京都府南丹市美山町鶴ヶ岡地区

### [活動内容]

- ・ 小学校の清掃活動
- ・ 地域イベントの企画 運営 参加
- ・ 蕎麦畑の開墾 種まき 収穫

### [活動時期]

- ・ 6月23日 学校清掃 / 廃品回収
- ・ 7月21日 蕎麦の種まき
- ・ 8月24日 地域のお祭りに参加
- ・ 11月17日 蕎麦打ち / DIY体験会

### [活動回数]

- ・ 美山町に月1~3回訪問
- ・ Skypeや学校で会議を定期的 to 実施

関係者人口増加に貢献しうる、してきた